

先月の、「新生子牛に先ずは浣腸」の続き

阿部紀次

兵庫の肉牛農家で、田中一馬さんという方がおられます。SNS でかなり前から畜産を一般～本業の方に情報発信されている、いわゆる“インフルエンサー”です。削蹄師でもあり、酪農大学・肉牛研究会 OB でもあり面識もあります。で、この方の投稿（ABEMA：週刊 BUZZ 動画 2023/9/30）に9万視聴が集まっています。

「子牛と勘違い 親牛が僕のお尻をなめるハプニング」



「親牛は子牛の肛門を舐めることで哺乳中に排便を促します。これが母性なんだよね。ちなみに今舐めているのは僕の肛門。誰だって間違えることはあるさ。だから僕は心を無にしながら、そのまま子牛のふりをした・・・。」

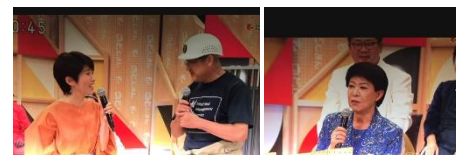
次は偶然出くわした私の症例体験です。

和牛メス、出生から5時間。カーフウォーマーから出して2度目の初乳給与のタイミングです。「とりあえず浣腸してみませんか〜」ってやってみることにしました。



50ccのシリンジに、使い終わった補液管を20cm切って差し込み、温湯で半分に薄めたグリセリンを50cc注入したところ、ほんの1分後、にゆるにゆると出てきました。色合いから「胎便」であることが分かります。結局両手に一杯（200g）ほど出ました。授乳されてた方から「吸引力のギアが上がった」といったコメントを頂きました。そして、「グリセリンください。」ってことになりました。まさに“効果あり”です。これでスタートが決まるとしたら・・・ お試しください。

私事で恐縮ですが、、先日9月24日 NHK のど自慢に出て世界に恥を晒してきました。でも、貴重な体験でした。あの夜、あの店で、“出しときましたから〜”って応募してくれたO専務には結果として感謝申し上げときます〜 それにしても予想以上に多くのコメントを頂きました。ありがとうございました m(_ _)m
有意義な夏休みになりました



廣瀬アナ、美川憲一さんからコメントをもらう16番ポラーレ・アベ